

令和6年色麻町議会定例会1月会議会議録（第1号）

令和6年1月4日（木曜日）午前10時00分開会

出席議員 12名

1番	大内直子君	2番	佐藤忍君
3番	相原和洋君	4番	白井幸吉君
5番	河野諭君	6番	小川一男君
7番	佐藤貞善君	9番	今野公勇君
10番	天野秀実君	11番	山田康雄君
12番	福田弘君	13番	中山哲君

欠席議員 8番 工藤昭憲君

欠員 なし

会議録署名議員

7番	佐藤貞善君	9番	今野公勇君
----	-------	----	-------

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	早坂利悦君
副町長	鶴谷康君
総務課長	高橋正彦君
企画情報課長	菅原伸一郎君
町民生活課長	山田栄男君
税務課長兼総合徴収対策室長	今野尚佳君
保健福祉課長兼地域包括支援センター所長	高橋康起君
子育て支援室長	今野健君
会計管理者兼会計課長	渡邊勝男君
産業振興課長兼愛宕山公園管理事務所長	浅野裕君
建設水道課長	高橋秀悦君
色麻保育所長兼清水保育所長	今野稔君

教育長	半田宏史君
教育総務課長兼学校給食センター所長	竹荒弘君
社会教育課長兼公民館長兼農村環境改善センター所長	今野和則君
農業委員会事務局長	山崎長寿君
代表監査委員	早坂仁一君

職務のため議場に出席した者の職氏名

議会事務局長	遠藤洋君
書記	大泉信也君

議事日程 第1号

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 会議日程の決定
- 日程第4 議案第1号 令和5年度色麻町一般会計補正予算（第8号）

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 会議日程の決定
- 日程第4 議案第1号 令和5年度色麻町一般会計補正予算（第8号）

午前10時00分 開会

○議長（中山 哲君） 御参集御苦労さまでございます。

ただいまの出席議員は12名、欠席議員1名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから令和6年色麻町議会定例会1月会議を開会いたします。

令和6年1月会議の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

輝かしい新年を皆様とともに迎えることができましたことを、心からお慶び申し上げます。

本議会におきましては、昨年は委員会の行政視察や議員研修会などを積極的に実施し、議員一人一人の資質向上を図るとともに、議会活動に生かすべく研さんを重ねてまいりました。今年は町民に身近で信頼される議会を目指し、議会と町政に対する意見・要望等を直接聴取して、議会活動に反映させるため、町民と議員が積極的に意見を交換でき

る場として議会懇談会を開催したいと考えております。定例会の開催をはじめ、各種議会運営がつつがなく実施できますのも議員各位並びに町長をはじめ、町執行部の皆様方の御協力のたまものであり、ここに衷心より厚く御礼を申し上げます。本年も1年間の会議を通して、議員、執行部皆様方の闊達な議論がなされ、町政発展に大いに寄与することを願いたします。どうぞよろしく願いたします。

簡単ではございますが、年頭の会議に当たっての挨拶といたします。

次に、町長から御挨拶をいただきます。御登壇の上、御挨拶をお願いいたします。町長。

〔町長 早坂利悦君 登壇〕

○町長（早坂利悦君） 皆さん、新年明けましておめでとうございます。また、議場からではありますけれども、町民の皆さんに対しましても、年頭の御挨拶を申し上げたいというふうに思います。

御案内のとおり、年末年始にかけまして、本当に穏やかな日で過ごしてきました。しかし、御案内のとおりでありますけれども、元旦の日には能登のほうで大地震があった、大変な被害が起きているということは、既に新聞などで御案内のとおりであります。ここからではありますけれども、被害に遭いました皆さんには、哀悼の意を表したいというふうに思います。

こうして思いますのは、この災害というのは、本当にいつやってくるのか分からないものだなあというふうに改めて感じさせられました。今のところ本町にあっては、何とかこの災害からは、大きな災害からは免れてきたわけではありますけれども、しかし、いつ、どういうところで、どういう災害が起きるか分からないなあと改めて思いさせられました。本町にとっていつも頭の中にありますのは、この災害の中でも水害が最も身の身近にあるなあというふうに思っております。そういうことで、今年も油断のならない災害にあっては、油断のならないスタートだなというふうに思わせられました。

また、2日には日航機の事故、こういうことも本当にもう予想のつかない、こういうことが起こりうるものだということも改めて知らしめさせられました。お互いに気をつけていたにしても、事故というものには出くわすことは当然あるわけではありますけれども、町民にとって、あるいは皆さんにとってもそういうことがないように、ただ祈るばかりだなあというふうに思っております。

さて、今年は社会的にも、あるいは昨年からの引き続きでありますけれども、社会的にも大変厳しい状況であることには間違いございません。我が町は農村地帯でありますので、農村地域にとっても、それは大変厳しいものだなあというふうに思います。

さらに、これは前から申し上げてきたとおり、本町にとって今も、これからも最大の課題になるのが人口減少でありますけれども、しかし、人口減少、減少中ではありますけれども、先輩の皆さんの努力、そして今現在、皆さんの努力によって、過疎の指定にはならない程度の減少です。これは大崎地区においては、本町のみだけが過疎の指定を受けていないわけではあります、これは人口減少率が基準よりも下回らないということ

での過疎の指定を受けない、そういう状況でありますけれども、将来にわたる課題としては、どうしてもこの人口減少というものは、意識せざるを得ないということになりますので、今後とも町民の皆さん、あるいは議員の皆さんにもお力添えを賜りながら考えを進めていきたいものだというふうに思います。

何と言っても若い人たちの定着、そういう中での子育て支援、そういう諸々の間接的な支援が考えられるわけでありまして、いずれにしましても、皆さんのお力添えを賜ればなあというふうに思います。

また、それに伴って商工会関係あるいは企業もしかり、人材の確保あるいは仕事の確保、いずれも厳しいものがあると思いますけれども、どうか町民、力を合わせながら進まなければならないものだというふうに思いますので、町民一丸となってそういうことに意識をしながら進んでまいりたいなど、進んでほしいというふうに思います。

そういう中で、私はこれまでもずっと言い続けておったんですけれども、自らの政治信念は、この生まれ育った色麻町をずっと思い続けることだと、これが自らの政治信念であり、そして、守りたい人があり、守りたいふるさどがあるというふうに表現をして、皆さんの前に提示をしてきました。そういう思いで、さらにこの1年間をスタートしたいというふうに思います。

まず、目標は何といったって目前の公社の問題もあります。何とか立て直しの方向で町としても力を注いでいきたいというふうに思いますし、間もなく認定こども園が開園されるわけでありまして、民間の、今度は民間での運営でありますので、町としても町民の皆さんから信頼を得られるように、そして、安定的にこれが進めてもらえるように、これもサイド的に協力をしていかなくちやなりません。このことについては、将来的には町にとっても大変有意義なものであるという思いでありますので、今後とも議員の皆さんにもお力添えをお願いしたいというふうに思います。

そして、工業団地の整備については、これからまだ第2工区、そして、第2工区が決まれば第3工区と手を付けていきたいと思いますので、今年度中に目鼻立ちを付けてみたいものだというので、これも努力をしていかなくちやなりません。皆さんの中にもいろんな情報を得られていると思いますけれども、どうぞ町のほうにも情報を寄せていただければ大変ありがたいと思いますし、今月、間もなく二十二、三でしたでしょうか、東京での県主催の企業立地セミナーもございますので、そのときにもいろいろな企業の人たちとの接触をしてまいりたいと思いますので、何とかこの1年間の中で第2工区に対する企業を立地したいものだなあというふうに思っております。

それから、これはいろいろ皆さんからのお叱りも若干あるようですけれども、私としては、この学校教育・社会教育の整備の中の1つとして、この視聴覚ホールの設置を何とかしたいなあという思いであります。これもなかなか一時のうちにこの成立をするというわけにはいきませんが、今年度このことについての、手がけたいと。まずもって手がけて、どういう状況で、どういう予算の中で、これは町のほうでできるのか、これは判断しながら進んでいきたいなあというふうに思っておりますので、この件につい

ても議会の皆さんの考えもあるでしょうけれども、何とか協力をお願いをしたいものだというふうに思います。

そんな中で、町にとってはいろいろな課題が山積していることは、今さら申すまでもないんですけれども、一つ一つ職員とともに一丸となってこれを、課題を乗り越えるために努力をしていきたいものだと、改めて今年度の年頭に当たり皆さんに申し上げたいというふうに思います。

また、前からこれは皆さんのほうにも連絡しておりますけれども、4月に機構改革がスタートします。このことに対しても町民の皆さん、あるいは町の課題をより乗り越えるための1つの機構改革ということで効率的に、そして、町民の皆さんが相談しやすい庁舎内ということでの機構改革というふうに持っていきたいものだと思いますので、どうぞこのことについても御協力・お力添えを賜ればというふうに思います。

また、皆さんは間もなく改選があるわけですがけれども、現職の皆さん、あるいは現職以外に挑戦される皆さん、どうぞ御健闘をされまして、さらにさらに町のために、これもお力添えを賜りますことを強くお願いを申し上げたいと思います。こうして見ますと、現職の皆さんは、どうも顔色いいようですので、十分な健闘をされているものと思いますけれども、どうぞ油断なく、互いに再びこの議場で会うように、どうぞ御健闘を期待をいたしておきます。

最後になりますけれども、新型コロナウイルス感染症も、あるいはインフルエンザもしかりでありますけれども、まだまだ終息もされておられませんし、インフルエンザも油断できるものでございませぬ。町民の皆さんがこの1年間こういう病気も、いわゆる無病息災ということがありますけれども、この辰年は元気よく1年ありたいと思いますので、町民の皆さんの御健康・御健勝、そして、御多幸、さらには、町にとっては災害のない1年ということを深く御祈念を申し上げながら、年頭に当たり挨拶に代えたいと思います。どうぞ1年間よろしく願いいたします。

○議長（中山 哲君） 以上で、年頭の挨拶を終わります。

次に、1月1日付で鶴谷 康さんが副町長に就任されました。鶴谷副町長には、これまでの経験を生かしながら町民の要望に応え、本町の限りない継続と発展のため、大いに尽力されますことを心から期待いたします。

それでは、鶴谷副町長から議員各位へ御挨拶をいたしたいとの旨の申出がありますので、発言を許可いたします。御登壇の上、発言願います。副町長。

〔副町長 鶴谷 康君 登壇〕

○副町長（鶴谷 康君） 皆様、新年明けましておめでとうございます。早坂利悦町長の御推挙によりまして、さきの町議会定例会12月会議で副町長選任の同意を賜りましたこと、誠にありがとうございます。大変身に余る光栄であるとともに、職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

町長の挨拶でもありましたが、現在、我が町もほかの多くの市町村と同様に少子高齢化と人口減少により、様々な課題に直面しております。このような中、微力ではござい

ますが、町職員として長年行政に携わってきた経験を生かし、早坂町政の補佐役として長期総合計画の理念である「自然を愛し、人が輝き、夢のある持続可能なまちづくり」の実現のため、様々な重要施策・重点事業を推進するとともに、山積する諸課題の解決に向けて精一杯取り組んでまいり所存であります。

そして、風通しのよい、町民の皆様に頼られる役場を目指し、また、色麻町の発展と町民皆様の幸せを願い、職員とともに執行機関としての責務を果たすことができるよう誠心誠意努めてまいりますので、皆様にはこれまでと同様に温かい御指導と御指導を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますが挨拶といたします。どうぞよろしくお願いたします。

○議長（中山 哲君） 以上で、挨拶を終わります。

これより本日の会議を開きます。

日程に入るに先立ち、議長として次の報告をいたします。

本日の議事日程は、議員各位のお手元に配付したとおりであります。

長より提案された会議事件は、議案1か件であります。

次に、地方自治法第121条第1項の規定により、会議事件説明のため出席を求めた者、町長、教育委員会教育長、選挙管理委員会委員長、農業委員会会長、監査委員及び長より委任を受けた者が出席をいたしております。

職務のため議場に出席した者、議会事務局長及び書記であります。

以上をもちまして、議長としての諸般の報告を終わります。

○議長（中山 哲君） これより本日の日程に入ります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中山 哲君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第117条の規定により、議長において、7番佐藤貞善議員、9番今野公勇議員の両議員を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（中山 哲君） 日程第2、会期の決定についてを議題といたします。

会期につきましては、色麻町議会定例会の通年開催に関する要綱第2条の規定に基づき設定することになっておりますが、今定例会の会期は色麻町議会定例会の回数に関する条例第2条の規定により、現議員の任期満了まで、つまり2月4日までとなります。

お諮りいたします。今定例会の会期は、本日1月4日から2月4日までの32日間といたしたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山 哲君） 御異議なしと認めます。よって、令和6年色麻町議会定例会の会期は、本日1月4日から2月4日までの32日間と決しました。

日程第3 会議日程の決定

○議長（中山 哲君） 日程第3、会議日程の決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。1月会議の日程につきましては、本日1日といたしたいと思ます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山 哲君） 御異議なしと認めます。よって、1月会議は本日1日と決しました。

日程第4 議案第1号 令和5年度色麻町一般会計補正予算（第8号）

○議長（中山 哲君） 日程第4、議案第1号令和5年度色麻町一般会計補正予算（第8号）を議題といたします。

議案朗読は省略し、直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。総務課長。

○総務課長（高橋正彦君） 議案第1号令和5年度色麻町一般会計補正予算（第8号）について、提案理由を御説明いたします。

今回の補正は、既定の予算総額に歳入歳出それぞれ3,975万円を追加し、予算総額をそれぞれ52億7,000万9,000円とするものであります。

まず、歳入から申し上げます。

議案書6ページを御覧ください。

第11款地方交付税は第1項地方交付税で、臨時経済対策費等の追加交付に伴い3,358万5,000円の増額、これにより本年度の普通交付税の総額は21億5,829万6,000円となりました。

第15款国庫支出金は第2項国庫補助金では、5目総務費国庫補助金で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金360万円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3,558万円の増額。6目衛生費国庫補助金では、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金で38万5,000円の増で、合計3,956万5,000円の増となっております。

第19款繰入金は財政調整基金繰入金を3,340万円を減額し、本年度の予算上の繰入額を4億5,810万円といたしました。

次に、歳出の主なものを申し上げます。

7ページを御覧ください。

第3款民生費は第1項社会福祉費では、1目社会福祉総務費において、社会福祉施設物価等高騰対応奨励金として360万円の増額。9目電力・ガス・食料品等価格高騰重点

支援給付金給付事業費では、国の物価高騰対策の補正予算を受けまして、低所得者世帯への7万円支給として3,500万円などを増額し、民生費の合計で3,934万3,000円といたしました。

第4款衛生費は第1項保健衛生費、7目新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業において、健康管理システム改修業務委託料38万5,000円を増額しております。

8ページに移りまして、第14款予備費は2万2,000円を増額し、歳入歳出予算の調整を行いました。

以上、令和5年度色麻町一般会計補正予算（第8号）の概要を申し上げました。よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

○議長（中山 哲君） 以上をもって提案理由の説明を終わります。

○議長（中山 哲君） これより総括質疑に入ります。総括質疑ありませんか。

〔「質疑なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山 哲君） 総括質疑なしと認めます。これをもって総括質疑を終了いたします。

○議長（中山 哲君） それでは、款項を追って質疑をお願いいたします。

議案書6ページ、歳入から入ります。

歳入。

第11款地方交付税第1項地方交付税。（「なし」の声あり）

第15款国庫支出金第2項国庫補助金。（「なし」の声あり）

第19款繰入金第2項基金繰入金。（「なし」の声あり）

次、歳出に入ります。

第3款民生費第1項社会福祉費。3番相原和洋議員。

○3番（相原和洋君） お尋ねしたい件が1点ございます。18節、18節かな、この負担金補助金、重点支援給付金について、お尋ねをしたいと思います。

先ほど説明がありました。1世帯当たり7万円、計算すると500世帯に対しての給付ということになるとは思われますが、これ可決後、こういった形で早急に進めていくのか。その内容についてをお尋ねをしておきたいと思えます。

○議長（中山 哲君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長兼地域包括支援センター所長（高橋康起君） お答えいたします。

スケジュールというようになるかと思いますが、今回の予算議決後にですね、システム改修を行いまして、そちらのほうを今月下旬を予定しております。それをもって対象者の抽出、洗い出しを行います。

その後、速やかにですね、対象者の方に支給の通知を送付いたしまして、前回3万円の支給を行っている方で、口座等の変更の申出がない方におきましては、その口座に振り込むようなことを予定しております。それ以外の方は確認書を返送いただき給付する

というような、そういう運びで考えております。支給開始は2月の下旬頃になるというふうに見込んでおります。

以上になります。

○議長（中山 哲君） よろしいですか。3番相原和洋議員。

○3番（相原和洋君） 今回の答弁聞きますと、前回3万円の給付金の方とは、また若干違う方がいるということで承ればいいのか。そうした場合、その部分の違いがどのような形になるのか。今回、500世帯という、ここに指数があるものですから、当然、担当課としては事前にそこはね、調べているのかなと思ったものですかからお尋ねしたんですが、何かそれとはまた違うようなお話でございます。それはなぜなのか、お尋ねをしておきたいなと思います。

○議長（中山 哲君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長兼地域包括支援センター所長（高橋康起君） 基本的には3万円の支給と同じような状況ではありますが、その中には家計急変世帯ということもありますので、そちらのほうもですね、今回の件数の中には見込んでいるというような状況であります。

○議長（中山 哲君） よろしいですか。3番相原和洋議員。

○3番（相原和洋君） 家計急変世帯について、前は10件かな、10世帯、今回もそれに近い数字なのかなと思うんですよ。そういうことを想定して、なされて予算措置を今回立てられたのかなと思って聞いてるんですが、そういうことではないのかなと思ってるんですよね。違うのかどうか。ここに500世帯という根拠があるわけですから、それを明確にお示しをいただきたいと思います。

○議長（中山 哲君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長兼地域包括支援センター所長（高橋康起君） 今の500世帯の根拠ということになりますが、一応今回はですね、基準日を令和5年の12月1日に本町の住民基本台帳に記載されている世帯というふうなことで考えております。

それで、世帯全員の令和5年度の住民税均等割が非課税である世帯、それと合わせて先ほど申し上げましたが、基準日に本町の住民基本台帳に記録されている住民税非課税世帯以外の世帯で、予期せず令和5年1月から12月の間にですね、令和5年中に家計急変、収入が減少して、住民税非課税世帯と同様の事情にあると認められるような世帯に対してが対象ということになります。

以上になります。

○議長（中山 哲君） ほかにありませんか。5番河野 諭議員。

○5番（河野 諭君） では、私も18節のですね、負担金補助金及び交付金のほうで質疑をさせていただきます。

質疑の前にですね、先ほど町長も言うておりましたが、能登半島で大規模な地震がありまして、甚大な被害が出ております。被災された方々に心より御悔やみと御見舞いを申し上げます。クラウドファンディングで支援も始まっているようですので、私もできる範囲で協力のほうはしていきたいなというふうに思います。

それでは、質疑をさせていただきますが、これ町民の方から連絡をいただいたんですが、この給付が先ほどの答弁ですと、2月下旬ぐらいから始まるような答弁をいただきましたが、これ栗原市では、もう12月の段階で給付が終わっているそうです。町民の方から聞いた話なので、そこまでちょっと確認は取れてないんですけども、それから比べると大分遅いのではないですかというふうに連絡をいただいたんですが、なぜこの2か月間も遅れるのか。

また、加美町のほうは1月下旬に給付がもう終わるようなことも言っておったんですが、本町は1か月から2か月遅いような気がするんですけども、なぜこんなに遅いのか、お聞きします。

○議長（中山 哲君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長兼地域包括支援センター所長（高橋康起君） お答えいたします。

まずもって予算の議決というところで、今回、1月4日ということで、今回、予算の議決をいただくというような形になりますが、これをもって、あと先ほど言ったスケジュールのような感じのシステム改修等を進めていくような形になります。

ほかの市町村のやり方というところはちょっと、こちらでも様々かと思いますが、うちのほうとしては、まずもってシステム改修を行ってですね、そちらの洗い出し等々につきまして、しっかりとした形で行っていきたいというような、そちらのほうの体制整備のほうは、どうしてもそういった日数を要するものですから、こういったスケジュールで行うというような予定にしております。ただ、その辺のシステム改修等がですね、速やかに行えれば、あと、なるべく早めに皆さんに支給したいというような考えではおります。

以上になります。

○議長（中山 哲君） 5番河野 諭議員。

○5番（河野 諭君） 町民の方の話では、前は早かったそうなんです、色麻町は。今回がちょっと遅いんじゃないですかというふうにありましたので、やはりちょっと準備の仕方というか、システムの始まりというか、仕方が遅かったのではないのかなと。

やはり隣の加美町でも1月の下旬には、もう支給が終わるような形でありますので、やはり聞いた話ですからね、町民の方から。そうなりますと、前は早くて、今回はちょっとほかより遅いというのは、やり方次第ではある程度早くはできると思いますので、やはりこの非課税世帯・低所得者世帯への給付でありますので、弱い方への支援でありますので、これはやはりほかの自治体より1か月も2か月も遅れるというのはまずいと思いますが、それについて今後の対応の仕方をお聞きします。

○議長（中山 哲君） 町長。

○町長（早坂利悦君） 確かに早いところもあれば、このように若干遅れるというところもありますけれども、早いところは多分、町の金を、国から来る前に予算措置をしたのかなあというふうには思いますが、早ければありがたいかもしれませんが、極点に遅れたわけでもありませんので、今のところ、さっき課長が言ったようなそのプロセ

スを経て、そして、遅くとも2月下旬と、遅くとも2月下旬ということになりますので、早ければもう少し詰まるということもありますので、確実にさっき言ったような条件の皆さんのところに届くことが大事だというふうに思いますので、そういうところを慎重にしながら進めたいということで、まずもって今の時期、2月の最大下旬まではお待ちを願えればというふうに思います。

○議長（中山 哲君） ほかによろしいですか。6番小川一男議員。

○6番（小川一男君） ただいま手続等について説明がありましたが、結局ですね、課のマンパワー・人員、その点の不足というか、欠員というか、その点が多く関与しているのではないかなと私は思われますが、町長より先ほど自己財源、資金のフローの関係で言いましたが、私は根本的にその課の定数管理ですね、その辺の不足・欠員、それが今回の手続で大いに関与しているのではないかなと思われますが、その点について説明を求めます。

○議長（中山 哲君） 町長。

○町長（早坂利悦君） 確かにマンパワー不足ということは否めないところもございますが、そういうところも十分配慮をしながらですね、今後に対応をさせていただければなというふうに思います。（「了解」の声あり）

○議長（中山 哲君） ほかに質疑ありませんか。（「なし」の声あり）

第4款衛生費第1項保健衛生費。（「なし」の声あり）

8ページに入ります。

第14款予備費第1項予備費。（「なし」の声あり）

以上で款項の質疑が終わりました。これをもって質疑を終了いたします。

○議長（中山 哲君） これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「討論なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山 哲君） 討論なしと認めます。これをもって討論を終了いたします。

○議長（中山 哲君） これより採決いたします。本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山 哲君） 御異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

○議長（中山 哲君） 以上をもって、令和6年色麻町議会定例会1月会議に付された案件は全部終了いたしました。

お諮りいたします。本会議は、この後、明日1月5日から次の会議までを休会としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中山 哲君） 御異議なしと認めます。よって、明日1月5日から次の会議までを休会とすることに決しました。

本日はこれをもって散会いたします。

大変御苦労さまでした。

午前10時38分 散会
